

# 30<sup>th</sup> The Road to Multicultural Coexistence

Iwate International Association

公益財団法人 岩手県国際交流協会 30周年記念誌

多文化共生を目指して



ごあいさつ

外国人県民と共に  
30年の歩みと未来

# 30<sup>th</sup> The Road to Multicultural Coexistence



公益財団法人岩手県国際交流協会は2019（令和元）年で設立30周年を迎えました。これまでご支援頂いた皆様に深く感謝いたします。

当協会が設立された1989（平成元）年は、冷戦の象徴であったベルリンの壁崩壊の年。以来、まさに国際社会のボーダレス化の進展に伴い、県内の国際交流環境も大きく変わりました。

在住外国人も外国人旅行客も、東日本大震災津波で一時減少したものの、30年間で大きく増加。また、震災復興支援を機に様々な国や地域との交流が生まれました。

まちで外国人を見かける機会も増え、かつては夢や憧れであった国際交流は、今や身近な現実となっています。

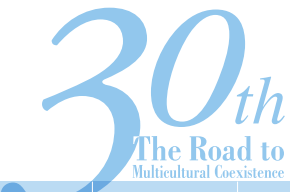
また、こうした環境変化に応じ当協会の施策も変化し、設立当初は県民向けの国際理解・交流推進が主でしたが、外国人県民の増加とともに、彼らへの支援を広げてきました。

今後も、国の政策やILC誘致などにより、外国人県民の更なる増加が期待されます。

当協会としては、本年策定した長期ビジョンに基づき、市町村や関係団体と連携を密に受入態勢を強化し、各地域で外国人県民と共に明るい未来づくりに取り組む機運を醸成してまいります。

皆様のご理解ご支援をお願いいたします。

公益財団法人 岩手県国際交流協会  
理事長 島山 智禎



設立から30年間の取り組みを年表にしてみました。こうして並べてみると、本当にいろいろな事業に取り組んできたなあと思います。さまざまな形で協会事業に関わっていただいたみなさんに、あらためて感謝申し上げます。



## 主な協会事業

- 盛岡市内の県公会堂内に事務所を構え、設立
- 自治省から地域国際化協会の認定
- ボランティア登録(ホストファミリー、通訳、協会活動)
- 留学相談開設
- 盛岡市上田に事務所を移転



盛岡市上田の事務所

- 留学説明会開催
- 外国人医療問題のアンケート実施
- シカゴユースオーケストラ受け入れ
- 韓国大学生研修団受け入れ

- 国際交流推進月間の開設
- 青少年の国際理解講座開設
- 日本語教育事業開始
- 外国人相談窓口設置

- 国際理解講座開設
- 世界アルペン記念事業実施
- 写真コンテスト、作文コンクール開催

- 日本語ボランティア登録開始
- 日本語教室開設
- いわて観音大使設置
- 留学生いわて講座開設
- 民間国際協力 (NGO) 支援実施

### 設立5周年記念

- 特定公益増進法人の認定
- 県立国際交流プラザ開設
- 国際理解ワークショップ開設
- 外国語サロン開設(3言語)
- イーハトーブ国際協力担手の広場



岩手県立国際交流プラザ



日本語教室(水沢)

### 設立10周年記念

- 医療通訳養成講座
- 保健医療情報窓口開設



設立10周年記念式典

- チャットランド開設
- 外国人生活品提供 せかんどはんだ 倶楽部開設
- いわて発・世界結いづくり事業開催
- ボランティアセミナー実施
- 「いわてプラネット」メーリングリスト開設
- 国際化いわて連携推進事業創設
- いわて国際塾開催

- キッチンからの交流会スタート
- JICA青年招へい事業実施
- 日本語講座開設
- 国際交流関係団体連絡会議設立
- 国際交流活動 助成金交付開始
- 留学生奨学金支給開始

- いわて国際交流フェスティバル開催
- 箱根会議国際交流担い手シンポジウム開催

## 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

## 印刷物

- 機関誌「いわて国際交流」発行
- 英語生活情報紙「Trailblazer」発行
- 国際交流マニュアル発行
- 「イワテガイドブック」(世界アルペン支援)発行
- 英文生活情報ガイドブック「FURUSATO IWATE」発行
- 外国語版県勢紹介広報誌発行

- 外国人医療ハンドブック発行(3言語)
- 国際交流情報紙発行
- 外国人生活ハンドブック発行

- 外国語版県勢ハンドブック発行
- 国際交流情報紙「岩手華人通信」発行

- 英文情報紙「HAKUCHO」発行
- 設立10周年記念誌発行



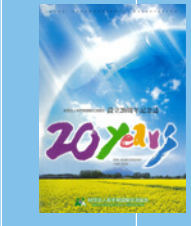
10周年記念誌

- 国際交流情報紙 jien go 発行(日、英、中)
- 機関誌「いわて国際交流」英語中国語版発行
- 国際交流情報紙 jien go (ポルトガル語) 発行



世界はともだち

- いわて多文化子どもの学習支援ハンドブック発行
- いわて版国際理解ハンドブック「世界はともだち」発行
- いわて多言語子育てハンドブック発行
- 外国人児童・生徒の就学支援ハンドブック発行
- 国際交流情報紙 jien go (韓国、フィリピン語発行)
- 機関誌多言語版(韓国、フィリピン、ポルトガル語)発行



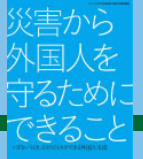
20周年記念誌

- フェアトレードハンドブック「いわてフェアトレード手帖」発行
- 設立20周年記念誌発行
- 「いわて国際理解ハンドブック～駆け抜けた男」発行
- 東日本大震災津波多言語記録集「在住外国人の3.11」発行
- 「いわて国際理解ハンドブック」世界はともだち (Part2) の発行
- 機関誌「いわて国際交流」の発行
- 多言語の震災関連情報の情報紙「jien go」(臨時号)の発行



在住外国人の3.11

- 「災害から外国人を守るためにできること」発行
- 外国人のためのいわて多文化医療ガイドブック発行
- 外国人のためのいわて生活情報ハンドブック改訂、発行
- 外国人児童・生徒のための就学支援ハンドブック改訂、発行
- 外国人のためのいわて子育てハンドブック改訂、発行
- 「みんなの知らない外国人のつづき」発行



災害から外国人を守るためにできること

## 岩手の出来事

- 外国人登録者数2,035人(30カ国)
- 「岩手県国際交流推進指針」策定
- カナダ、香港県人会設立

- アルペンスキー世界選手権 盛岡、磐石大会開催
- 大冷害

- 外国人登録者数3,000人突破(53カ国)

- 外国人登録者数4,000人突破(57カ国)
- 外国人登録者数5,000人突破(63カ国)

- 外国人登録者数6,000人突破(66カ国)
- 東北新幹線盛岡八戸開業
- IGRいわて銀河鉄道開業

- 翌年にかけて市町村合併が相次ぐ
- 大連県人会設立

- 外国人登録者数6,593人(66カ国)
- 岩手・宮城内陸地震
- 盛岡商が高校サッカー日本一
- 中国人登録者数3,000人突破
- 上海県人会設立

## 世の中の動き

- 日本のODAが世界一に
- 天安門事件
- ベルリンの壁崩壊
- パブル経済崩壊
- 東北新幹線が東京駅乗り入れ
- ノ連崩壊
- 湾岸戦争、ユーゴスラビア紛争勃発
- 外国人労働者激増

- PKO協力法成立自衛隊のカンボジア派遣

- 自治体国際協力推進大綱策定
- 阪神・淡路大震災
- 世界女性会議(北京)

- 秋田新幹線開業
- 地球温暖化防止京都会議

- 男女共同参画社会基本法成立
- 世界人口60億人
- 特定非営利活動促進法(NPO法)成立
- 長野冬季オリンピック開催

- テロ対策支援法成立
- 米国同時多発テロ事件(9.11)
- 日、韓サッカーワールドカップ開催

- 新潟県中越地震
- スマトラ沖大地震
- イラク戦争
- 感染症SARS 世界的流行

- 「地域における多文化共生推進プラン」策定
- 公益法人制度改革関連3法成立
- 世界人口65億人
- 公益法人制度改革関連3法施行
- 世界国際不況
- 中国 四川大地震

- 東日本大震災
- ニュージーランド地震
- 2020年の東京五輪開催決定
- 環太平洋連携協定交渉に参加
- イスラム国関連テロが続発
- 欧州への難民流入増大、EUで受入れ論争
- 英国国民投票でEU離脱決定
- 西アフリカでエボラ出血熱が猛威
- 日本の総人口25万9千人減

- 外国人登録者数5,234人
- 沿岸部に大津波襲来
- 「平泉」世界遺産登録
- 東北六魂祭開幕
- 三陸鉄道完全復旧
- 滝沢市が誕生
- 横野鉄鉱山世界遺産に登録
- ラグビーW杯釜石開催決定
- 岩手国体開催
- ILC候補地に北上山地
- ベトナム人登録者数1,000人突破

- 外国人登録者数7,187人
- 台湾国際定期便就航
- 釜石鶴住居復興スタジアム完成
- ラグビーワールドカップ2019™釜石開催
- 上海国際定期便就航

- 改正入管法施行
- いわて外国人県民相談センター開設
- 天皇陛下御即位
- 皇太子殿下御即位
- 西日本豪雨
- 北海道地震
- 初の米朝首脳会談
- 韓国、北朝鮮首脳会談

祝  
辞

岩手県知事

達増 拓也



公益財団法人岩手県国際交流協会が設立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、幅広い分野での国際交流活動の展開により、県民の国際理解を深め、国際協力思想の高揚を図るとともに、地域の活性化を図ることを目的として平成元年10月に設立されました。以来、本県の国際交流・協力推進の中核的組織として、国際交流事業の企画、在留外国人支援等に積極的に取り組まれてきました。

ここに改めまして、会員を始めとする各界各層の皆様方の御尽力に対し、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

貴会が設立された平成元年から30年の歳月が経過し、令和の時代が始まりました。この間インターネットやSNSの普及などにより、岩手にいながら世界と自由な情報のやりとりを行うことができるようになり、県のグローバル化も大きく進展しました。また、東日本大震災津波の発災以降、多くの外国人が本県を訪れて県民との交流を深め、本県から多くの若者が海外に招かれるなど、これまでにな

い規模で、県民が世界とつながる機会が増加しています。

本県における在留外国人数も設立当時の約2千人から大きく増加し、昨年末には7千人を超え過去最高となりました。また、本年4月には改正出入国管理及び難民認定法が施行され、本県においても今後外国人労働者等の更なる増加が見込まれています。このような中、外国人にとっても暮らしやすい環境づくりのため、外国人県民等の言葉の壁や生活上の不便の解消、互いの文化や習慣などの多様性の理解促進に向けた取組を更に進めていく必要があります。

これらの取組を進めるに当たって、地域の国際化に係る中核的な組織である貴会の役割は大きく、県はもとより、市町村の国際交流協会、様々な主体との連携が更に強化されることを期待しております。

今後とも本県の国際関係施策の推進に、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



一般財団法人 自治体国際化協会 理事長

岡本 保

祝  
辞

公益財団法人岩手県国際交流協会が設立30周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。また、この30年間、貴協会が地域の国際化の推進に多大な貢献をしてこられたことに対しまして深く敬意を表します。

我が国の地域の国際化については、これまで「国際交流」、「国際協力」、「多文化共生」を柱として推進されてきましたが、地域国際化協会がその推進拠点として大きな役割を果たしてきました。

近年、留学生や技能実習生の増加による外国人住民の多国籍化や、定住化の進展など、外国人住民を巡る課題は複雑化している一方で、いわゆる改正入管法の施行をはじめ、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」により国の取組が進められるなど、多文化共生を取り巻く情勢が大きく変化しています。また、災害も多発しており、災害時の外国人支援の充実も喫緊の課題となっています。

そのような状況の中、これまで貴協会におかれましては、地域の国際化の最前線で国際交流や多文化共生の推進に熱心に取り組んでこられました。特に東日本大震災の被災経験

を踏まえて、「災害時多言語サポーター」の育成を行うなど大規模災害でも機能する災害時外国人支援の仕組みの構築に積極的に取り組んでこられました。

さらに最近では、外国人県民の増加や国際交流を取り巻く環境変化に対応し、将来を見据えて活動を積極的に展開するべく、「いわてビジョン2019」を策定され、10年後の将来像を目標として掲げて、長期的な視点からダイバーシティやグローバルな人材育成に着目した先導的な施策に取り組んでいくこととしているなど、今後も岩手県の国際化の推進に向けて貴協会の果たす役割はますます重要なものとなってまいります。

貴協会が、この30周年を礎として、なお一層の発展を遂げられますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



# Chronicle

## 2009~2018

# 30<sup>th</sup>

The Road to  
Multicultural Coexistence



さんさ踊りパレードへの参加。そして、東日本大震災津波。  
2009年からの直近10年を、協会を支えてくれた方々の  
寄稿文とともに振り返ります。

## 2009【平成21年度】

「2009ワン・ワールド・フェスタinいわて」をアイーナのほか県内2地域で開催。

宮城県、福島県と県境を越えた連携により3県国際交流協会連携多文化共生セミナーを開催。

設立20周年記念事業において、記念式典、記念講演、交流会を開催するとともに記念誌を発行。



協会設立20周年記念式典

### 主な新規事業

- ・携帯電話ホームページサイトによる情報発信
- ・協会設立20周年記念事業

## 2010【平成22年度】

県が策定した「岩手県多文化共生推進プラン」に基づき、グローバルな視点から国際交流・協力・多文化共生を考える契機とするため、アイーナのほか県内4地域で「いわてグローバル・カレッジ」を開催。

平成23年3月11日、東日本大震災津波が発生。



いわてグローバル・カレッジ

### 主な新規事業

- ・いわてグローバル・カレッジの開催
- ・国際協カスタディツアーの実施
- ・災害時多言語支援センター設置訓練
- ・センター運営サポーターの登録と活用



ワン・ワールドで踊ろう「さんさ踊り」

## 【平成23年度】 2011

「多文化共生」、「交流」、「人づくり」の3本柱の事業に加え、「被災地の外国人支援」を展開。

在住外国人や沿岸地域からの参加も得て「世界はともだち」チームで盛岡さんさパレードに参加。公益財団法人に移行。

### 主な新規事業

- ・行政手続定期相談の開設
- ・いわて国際理解ハンドブック「世界はともだち」part2の発行
- ・「世界学びプラザ」
- ・海外体験・留学セミナー
- ・地域国際化リーダー研修会の開催

- ・韓国語相談員の配置
- ・ワン・ワールドで踊ろう「さんさ踊り」
- ・ちょっとランド特別版 もっと知ろう!ポーランド  
～大使ご夫妻を囲む感謝の夕べ～

# Message

協会事業をサポートして  
下さった方から  
メッセージをいただきました。  
(掲載順は五十音順です。)

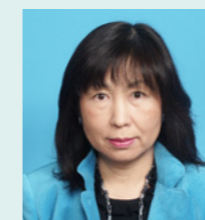
安藤 厚 (岩手県国際交流協会 元理事長) 01 message



岩手県国際交流協会の設立30周年誠におめでとうございます。協会がアイーナに移転(平成18年)後の第2代目の理事長を、平成21年度から4年間務めさせていただき、誠に光栄に存じております。

実務面は当時の常務理事の稲田収さんを中心に、和気あいの雰囲気の中で、テキパキと仕事に取り組んでおられたスタッフの皆さんを頼もしく眺めておりました。思い出すことは沢山ありますが、平成23年3月11日の東日本大震災のことが強烈に浮んで来ます。新幹線が止まり、アイーナの各階に乗客があふれていた光景は忘れられません。昨日が平穏であったから、明日も平穏とは限りません。何があってもたじろがない気概をお互いに持ち続けたいものです。

薄衣 景子 (岩手県国際交流協会 理事・一般社団法人 北上市国際交流協会 代表理事) 02 message



岩手県国際交流協会設立30周年おめでとうございます。

所在地が上田～大沢川原～アイーナへと移転に伴い着実に国際交流の輪を広げてこられました。私にとっても30年前姉妹都市交流を中心とした民間団体「日米協会・北上アンバサダー」を設立以来ずっとお世話になっており、数多くの研修やイベントに参加させていただきました。特に「平成13年度地球市民まちづくりコーディネーター研修」でシカゴでのParent Projectを通し、目標設定・成果、ビジョンの共有など多くの大切なことを学ぶ機会を得られてとても感謝しています。

鎌田 英樹 (岩手県国際交流協会 理事) 03 message



38年前、新婚旅行で訪れた香港が初めての外国でしたが、多少なりとも異国の文化、風俗に接して大いに感激したものです。

実際に見て、聞いて、話して、食べてみなければ始まらない世界があります。

きっかけも大切です。岩手の子供たちには出来るだけ多くの機会に外国の文化に触れ、柔軟な感受性で色々なことを感じとり、自分の進路や、人生に活かしてもらえよう願っています。

会話が出来ることにこしたことはありませんが、明るい笑顔と挨拶があれば大概は何とかなります。言葉以上に、心のハードルを高くしないことも大切です。

# 2012【平成24年度】

被災地外国人相談員を委嘱し、被災地の外国人の生活相談等に対応。

東日本大震災津波多言語記録集「在住外国人の3・11」を発行。

また、次世代の人材育成を目的に「いわて青年国際塾」を5回シリーズで開催。



「東日本大震災 被災地3県国際交流協会が振り返るシンポジウム」

## 主な新規事業

- ・日本語教室開設研修会
- ・国際交流関係団体等との共催事業の実施
- ・「いわて国際理解ハンドブック～駆け抜けた男」の発行
- ・国際交流センター内企画展示
- ・海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

## 震災後の新規支援事業

- ・「東日本大震災 被災地3県国際交流協会が振り返るシンポジウム」の開催
- ・東日本大震災津波多言語記録集「在住外国人の3・11」発行
- ・在住外国人へのオリエンテーションの実施
- ・東日本大震災津波に関する調査研究

## column

### ～東日本大震災津波後の取り組み～

震災の起こった直後、協会は外国人の安否確認や被災者支援の情報を調べ、問い合わせに備えました。被災者への支援情報をホームページに掲載し、ツイッター、フェイスブック等で発信。また、震災情報紙「jien go」の臨時号の発行や、ラジオ番組にて被災者に役立つ情報の多言語提供に努めました。

公共交通機関が動き出した3月18日に初めて被災地に入り、被災地を巡回、外国人の相談に身近な場所に対応しました。

その後、外国人のこころのケア「被災者と語る会」の開催や「2011 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」にて世界

各地から寄せられた支援に感謝するメッセージを国内外に発信するなど、県民と外国人の交流を深める機会を設けるよう努めました。

### 震災後の主な支援活動

- ・多言語の震災関連の情報紙「jien go」(臨時号)の発行
- ・ラジオを活用した情報提供
- ・震災関連の相談対応
- ・外国人のこころのケア「被災者と語る会」
- ・災害時対応に関わる調査
- ・「災害時における国際交流の意義」に関する共同調査
- ・震災地域団体支援



2011 ワン・ワールド・フェスタ in いわて



外国人のこころのケア「被災者と語る会」

# 2013【平成25年度】

日米学生会議「岩手プログラム」における被災地訪問やアイーナ復興バザーへの支援。

在住外国人の日本語能力向上を目的に「中級日本語教室」を開設。



日米学生会議「岩手プログラム」

## 主な新規事業

- ・中級日本語教室開設
- ・国際リニアコライダー誘致に向けた情報発信

## 震災関連

- ・日米学生会議「岩手プログラム」
- ・アイーナ復興バザーの開催支援



## 【平成26年度】

# 2014

「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」など被災地の国際交流協会事業を支援。

国連防災会議に対応するため、語学サポーター研修の実施及び語学サポーターを派遣。



ワン・ワールド・フェスタ in いわて

## 主な新規事業

- ・震災被災地団体支援
- ・「2014 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を国際交流センター及び一関市川崎町、陸前高田市で開催
- ・国連防災会議関連事業に関する語学サポーター研修会の実施及び派遣

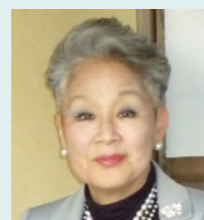
## Message

川井 博之 (岩手県国際交流協会 企画推進専門委員長) 04 message



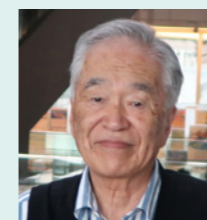
近未来の岩手の国際交流はどうあるべきか。企画推進専門委員会に課せられたテーマだった。東日本大震災後、海外から多くの支援を受けた。一方、被災地の中高生も海外で感謝のメッセージを伝えた。国際スポーツ大会が開かれ、県人アスリートが世界の舞台上で活躍する。観光、留学、就労…。外国人県民との触れ合いの輪が広がる。長期ビジョン「外国人県民と共につくる明るい未来」は専門委員7人の思いを込めた。職場で、地域で国籍を問わず、県民として手を取り合う。笑顔あふれる地域でありたい。

齋藤 哲子 (岩手県国際交流協会 前評議員) 05 message



岩手県国際交流協会設立30周年を心よりお慶び申し上げます。この間、協会での関わりで特に印象に残った出来事は数え切れない程ありますが、敢えて挙げると、平成5年の世界アルペンの益から国際交流巡回講座を開設した当時、盛岡市大沢川原に国際交流プラザが開設され、平成6年に設立5周年記念事業として、いわて国際交流フェスティバルが開催されました。それが今想うと、外国語サロン、国際理解のワークショップ等の活動の原点となったのではと、大変、懐かしく思い出されてなりません。何は兎も角、「出会いと感動」人と人との心の触れ合いこそが、国際交流の原点として、今後共、一つ一つ心の感動を創出する、そのような交流活動を期待しております。

坂下 陽市 (岩手県国際交流協会 前理事) 06 message



どれだけ多くの人に出会ったか…。協会での30年間はあっという間に過ぎ去り、友人との楽しい出会いは生涯忘れられない思い出となった。特に私の胸に刻まれたのが、2005年の名古屋万博カナダパビリオンに掲げてあった「多様性の英知 (Diversity of wisdom)」のスローガン。国際社会でのカナダ国民の考え、生き方を示す。歴史的転換期の現在、多様性という言葉は普通に語られるようになったが、新渡戸稲造の生き方に感銘し国際交流にのめり込んだ私にとって、この言葉こそ、これからのグローバル時代に無くてはならないと思う。岩手の若者が積極的に海外へ出られるよう、県協会の更なる支援をお願いしたい。

千田 曠暁 (ブラジル岩手県人会 会長) 07 message



初めに岩手県国際交流協会設立30周年、心からお慶び申し上げます。貴会には様々な企画等で、幅広い活動をされている事に敬意を表しますと共に、相互の情報交換や当会賛助会員制度や留県生もお世話になっております。振り返りますと、貴会ブラジルフェア開催に対し資料の協力や訪問懇談させて頂いた事が懐かしく思い出されます。当会では郷土食文化紹介はじめ、様々な交流活動や会報ニュースで情報発信し、会員や国内外に発送して活動等を伝えております。最後に、貴会の幅広いご活躍と益々のご発展をご祈念申し上げお祝い致します。

# 2015

【平成27年度】

被災地の国際交流協会が実施する事業への支援。  
地域におけるグローバル意識の向上と人材育成を図る  
「世界とのかけはしクラブ」を県内4地域で開催。



世界とのかけはしクラブ

## 主な新規事業

- ・地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催
- ・市町村協会を中心とした多文化コミュニティ基盤整備事業の実施
- ・「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業



いわて災害時多言語支援体制構築事業 実践訓練

## 主な新規事業

- ・いわて災害時多言語支援体制構築事業
- ・留学生交流活動支援事業

# 2016

【平成28年度】

「2016ワン・ワールド・フェスタinいわて」をアイーナのほか3か所で開催。加えて、「国際交流DAY」を2地域の国際交流協会と共催で開催。  
「いわて災害時多言語支援体制構築事業」として、研修、シンポジウム、実践訓練を実施。

# 2017

【平成29年度】

「ワールド文化・スポーツフェスタ」を4地域で6回開催。  
「外国人出前講座」については17地域で21回開催。  
県内4広域圏ごとに担当職員を配置し、地域の国際交流協会との連携の取り組みに関する意見交換会を開催。  
グローバル化を担う若い人材の育成に取り組む「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業において7名の海外留学を支援。



2017 ワールド文化・スポーツフェスタin住田町

## 主な新規事業

- ・「ワールド文化・スポーツフェスタ」の開催
- ・生活支援セミナーの開設
- ・外国人等出前講座開催事業
- ・「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営



地域国際化人材育成研修

## 主な新規事業

- ・地域国際化推進会議の開催
- ・地域国際化人材育成研修の実施
- ・国際協力機構（JICA）研修員の受け入れ
- ・いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設

# 2018

【平成30年度】

市町村、市町村国際交流協会、国際関係団体等との連携を強化するため、「地域国際化推進会議」、「地域国際化人材育成研修」を各県内4広域圏で開催。  
また、「地域づくり」をテーマにしたセミナーやワークショップを各地で実施。  
世界とのかけはしとなる人材育成支援として「いわて青年国際塾」を地域等で10回開催。  
グローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェアやインターンシップ、企業訪問等を実施。

- ・外国人患者受入体制構築事業
- ・「外国人のためのいわて多文化医療ガイドブック」の発行
- ・「外国人のためのいわて生活情報ハンドブック」等の改訂、発行

## Message

平山 健一 (岩手県国際交流協会 前理事長)

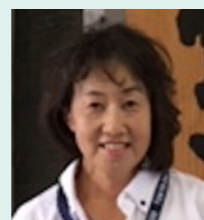
08 message



岩手県国際交流協会の設立30周年を心からお祝い致します。私にとって、協会の皆様と共に過ごした6年間は大変楽しく充実した時間でした。近年、外国からの訪問者や外国人労働者の増加、東日本大震災津波における世界各国からの御支援等によって、世界の国々との交流機会はますます増加して身近に異文化との共存を迫られています。協会は地域の要望を踏まえながら、適切な文化交流への支援を通じて、岩手の国際化の推進と優れたふるさとの文化の発信に先駆的な役割を果たされるよう祈っています。

宮 順子 (岩手県国際交流協会 前事務局次長)

09 message



「国際交流は民の力で」私が協会職員になった時、協会関係者の方から聞いた言葉で、28年たった今でも色あせることなく心の中に残っています。機関誌の発行やワンワールドフェスタをはじめ様々なイベントの開催など、数多くの事業に、いつもボランティアの方々も寄り添い続けてくれました。時が移り変わり、外国人との共生が多様化し、また国同士の複雑な問題が絶えないこの時代に、あらためて一人ひとりの心がつむぐ国際交流が大切であることを感じます。

元持 幸子 (岩手県国際交流協会 元企画推進専門委員)

10 message



岩手県国際交流協会設立30周年、心よりお祝い申し上げます。  
東日本大震災後、貴協会よりサポートを受け、沿岸地域における国際交流協会の活動を再スタートすることができました。ありがとうございました。当時は、多くの支援が国内外から寄せられ、互いに思いやり尊重する多文化共生の力を実感しました。最近では、ラグビーワールドカップや姉妹都市間交流再開など、国際化や多文化共生という言葉を経験する機会が増え、岩手における国際交流や国際協力の土壌が広がっていると感じます。

吉田 亜未 (岩手県国際交流協会 元スタッフ)

11 message



このたびは、設立30周年をお祝いし、心よりご祝福申し上げます。私は約8年間勤務させていただいておりました元スタッフです。国際交流の熱意を持つ上司や同僚から、たくさんの国際交流知識やノウハウなどを学び、成長させていただきました。一在在外国人として日本で生活する中で、楽しいことも、辛いこともたくさん経験してきました。協会のイベントや研修会などの運営を通して、他の外国人在住者の方々に寄り添う機会がたくさんありました。最後の2年間は、おかげさまで外国人相談員として自身の経験や知識で外国人を支援する立場になりました。相談員という役割を通じて、自身の人生も豊かになりました。このような経験をさせていただき、協会には感謝の気持ち一杯です。今後ともさらに一層のご発展ご躍進をなされるよう心よりお祈り申し上げます。



## 公益財団法人岩手県国際交流協会～外国人県民と共につくる明るい未来～いわてビジョン2019 概要

### 策定の趣旨

外国人県民等\*の増加や国際交流を取り巻く環境の変化に対応し、将来を見据えて活動を積極的に展開していくため、長期ビジョンを策定します。

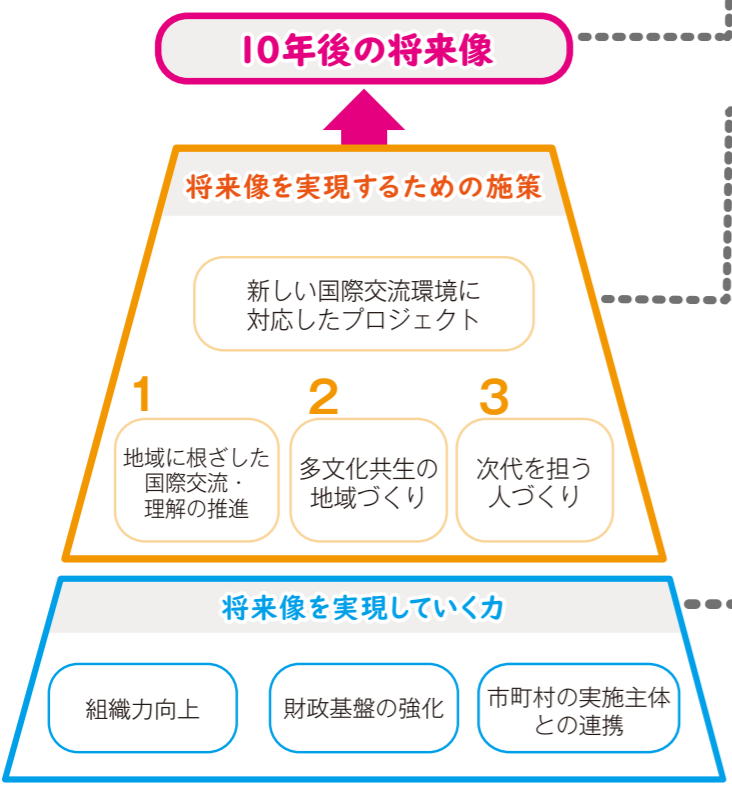
### 位置付け・期間

本県の国際交流を取り巻く状況を展望し、その状況の変化に対応して当協会としての「目指すべき将来像」、そしてその将来像を実現するための「取組の方向性」を示します。計画期間は10年とします。

### 岩手県国際交流協会の役割

- 時代に即した国際交流・理解の啓発普及
- 国際交流や多文化共生に関する総合的な支援
- 外国人支援の総合的な窓口
- 他組織とのコーディネート
- 世界と岩手県をつなぐネットワークの拠点
- グローバル人材の育成・定着

### 《ビジョン概念図》



### 目標とする10年後の将来像

同じ地域の構成員として、日本人県民と外国人県民等が、個々の力を発揮し、互いに尊重し合い、共に快適で住み心地のよい岩手が築かれている。

県全体で多文化共生の理解と体制づくりが進み、県内各地域において、外国人県民等が必要な支援を受けられている。

国際交流や多文化理解等を通じてグローバルな視点を持った岩手と世界をつなぐ人材が育ち、活気ある岩手の地域づくりに貢献している。

### 将来像を実現するための施策

#### 新しい国際交流環境に対応したプロジェクト

新たな環境の変化に対応しながら、長期的な視点に立ち先導的な取組を進めていくため、次の6つのプロジェクトを掲げ、積極的に推進します

協会設立30周年記念プロジェクト	ILC支援プロジェクト	働く外国人支援プロジェクト	多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト	グローバル人材育成プロジェクト	外国人留学生等就職活動支援プロジェクト
当協会の30年の歩みを振り返りながら、未来につなげるための記念事業を企画・実施します	ILCの誘致実現を目指し、関係機関と連携・協力し、「国際研究拠点『いわて』」として暮らしやすい地域社会づくりに取り組みます	外国人労働者の生活上の課題やニーズに応えるとともに、外国人が働きやすい地域社会の構築を目指します	外国人県民等が個々の持つ多様性や能力を生かし、日本人県民と共に取り組む地域づくりを目指します	国際交流や多文化理解等を通じてグローバルな視点を持った岩手と世界をつなぐ人材の輩出を目指します	日本語能力を持ち、日本の文化や社会システムに一定の理解を有する外国人等の岩手県内定着を目指します

### 1 地域に根ざした国際交流・理解の推進

各地域の特徴を生かし地域に根ざした国際交流・理解の取組を推進します

- 国際交流センターにおける情報提供等サービスの充実
- 市町村、市町村国際交流協会等の職員を対象とした専門知識や最新情報の提供
- 国際交流活動団体に対する資金助成
- 国際交流イベント等実施のための人材紹介、物品貸出等による、各地域における自主的な取組の支援

### 2 多文化共生の地域づくり

多様な文化を尊重し合い、日本人県民と外国人県民等が共に暮らしやすい環境の整備に取り組みます

- 様々な交流や外国文化紹介機会の提供・促進
- 支援者や情報通信技術の活用等による日本語学習機会の提供・促進
- 地域の日本語教室の活動支援、日本語指導の新たな担い手の育成
- 多言語およびやさしい日本語での情報提供の促進
- 専門性を持った相談体制づくり
- 教育機関との連携による日本語指導が必要な児童生徒の支援
- 災害時における多言語支援センター機能の整備
- 医療機関受診等における受入体制の整備や、社会保障制度の理解促進のための情報提供

### 3 次代を担う人づくり

グローバルな視点を持つ人材による活気ある地域づくりを目指します

- グローバル視点や世界に通じるコミュニケーション能力習得の機会提供
- 教育機関等との連携による小中高大等の各段階に応じた体系的な人材育成の取組
- 留学等海外へ踏み出す若者の支援

### 将来像を実現していく力

#### 組織力向上

- コア・コンピテンスの獲得
- 職員的能力向上
- 行政との適正な役割分担
- 適正な組織運営
- 参画者の増強
- 信用・信頼の構築

#### 財政基盤の強化

- 各種助成事業の積極的な活用
- 基本財産の安全かつ有利な運用
- 経費の節減
- 賛助会員数の増加

#### 市町村の実施主体との連携

- 連携強化・事業実施の支援
- 専門知識や情報の提供・共有

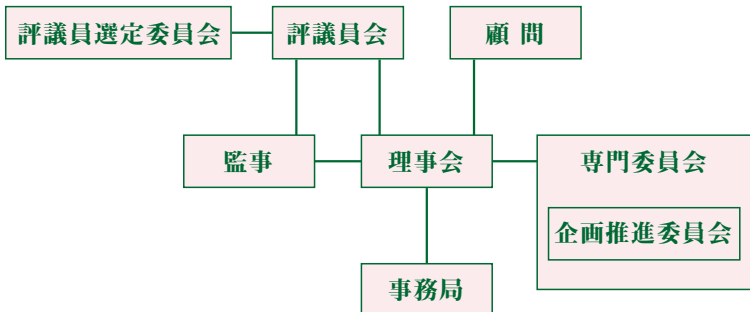
\* 外国人県民等… 外国籍を持つ県民のほか、日本国籍を取得した県民や、国際結婚などによって生まれた外国人の親の文化を背景に持つ子どもなど、外国にルーツがあり、外国籍の人と同様の政策的ニーズを持つ県民とします。

## 協会の概要

名称	公益財団法人 岩手県国際交流協会
英文名称	Iwate International Association
代表者	理事長 畠山 智禎
所在地・連絡先	〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5F 国際交流センター TEL 019-654-8900 FAX 019-654-8922 Email iwateint@iwate-ia.or.jp URL https://www.iwate-ia.or.jp/
設立の目的	豊かな自然や歴史、伝統などに育まれた岩手の風土を生かしながら、経済、技術、文化、スポーツ等、幅広い分野における国際交流・協力・多文化共生事業を展開することにより、県民の国際理解を深め、国際協力思想の高揚を図るとともに、地域経済のみならず、文化面においても本県の活性化を図り、もって物心ともに豊かな郷土岩手の建設に寄与する。
設立年月日	1989(平成元)年10月18日
地域国際化協会認定	1990(平成2)年1月23日自治省認定
公益財団法人移行年月日	2011(平成23)年4月1日
基本財産	10億9,560万円/2019年(3月末現在)
役員	理事10人(常勤2人:理事長、常務理事)、監事2人、評議員12人
事務局職員	職員21人(常勤職員6人、常勤嘱託員7人、非常勤相談員4人、非常勤補助員4人)(2019年10月現在)
賛助会員	362会員(うち個人会員295人(年会費3,000円)、学生会員21人(年会費1,000円)、団体会員46団体(年会費10,000円)) (2019年3月末現在)



## 協会の組織 (2019年10月現在)



### ■ 理事

理事長	畠山 智禎	前・副理事長、元・岩手県企業局長
常務理事	飛鳥川 和彦	前・事務局長、元・岩手県南広域振興局副局長
理事	薄衣 景子	(一社)北上市国際交流協会代表理事
理事	鎌田 英樹	(株)アイビーシー岩手放送代表取締役社長
理事	熊谷 敏裕	岩手県商工会連合会専務理事
理事	小久保 智史	岩手県教育委員会事務局学校教育課総括課長
理事	佐々木 真一	岩手県政策地域部国際室長
理事	嶺岸 玲子	盛岡大学文学部日本文学科准教授
理事	村井 淳	岩手県市長会事務局次長
理事	藪 敏裕	岩手大学副学長

### ■ 監事

監事	瀬川 光夫	(株)北日本銀行常務取締役
監事	望月 敦允	弁護士

### ■ 顧問

顧問	達増 拓也	岩手県知事
----	-------	-------

### ■ 評議員

評議員	内金崎 みつ子	大槌町国際交流協会会長
評議員	遠藤 洋一	岩手県ユネスコ協会連盟副会長
評議員	小苅米 葉子	国際ソクタ盛岡ソクタクラブ会長
評議員	崔 肅京	富士大学経済学部教授
評議員	作山 充	(株)岩手日報社取締役広告事業局長
評議員	佐藤 修	岩手県町村会事務局長
評議員	佐藤 求	(株)岩手銀行常務取締役
評議員	白水 伸英	岩手県政策地域部長
評議員	橋本 良隆	岩手県商工会議所連合会専務理事
評議員	畠山 憲男	(公財)花巻国際交流協会常務理事
評議員	細越 久美子	岩手県立大学社会学部准教授
評議員	横山 勝	横山勝行政書士事務所代表

### ■ 評議員選定委員会委員

委員	遠藤 達雄	岩手県立大学理事長
委員	藤澤 光	(一社)岩手県経済同友会専務理事
委員	瀬川 光夫	当協会監事
委員	遠藤 洋一	当協会評議員
委員	川村 央隆	当協会事務局職員



### ■ 専門委員会 企画推進専門委員

委員長	川井 博之	(株)岩手日報社常勤監査役
副委員長	大野 眞真	岩手大学教育学部教授
委員	薄衣 景子	(一社)北上市国際交流協会代表理事
委員	小久保 智史	岩手県教育委員会事務局学校教育課総括課長
委員	崔 肅京	富士大学経済学部教授
委員	橋本 良隆	岩手県商工会議所連合会専務理事
委員	横山 勝	横山勝行政書士事務所代表

### ■ 事務局職員

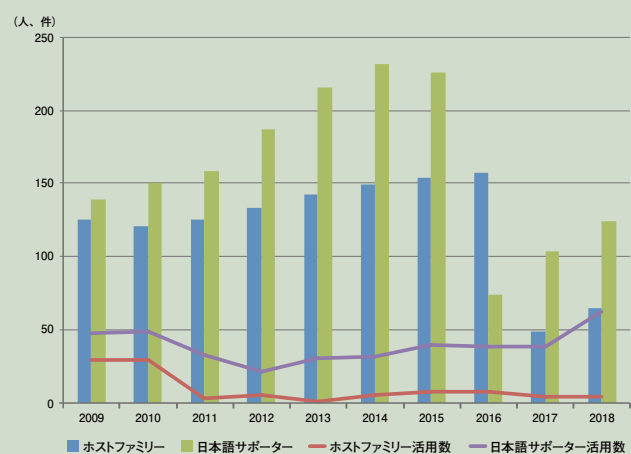
常務理事兼事務局長	飛鳥川 和彦
事務局次長	及川 博英 (県職員)
主幹	工藤 明雄
主幹	川村 央隆 (県職員)
主査	高橋 円花
主査	大山 美和
スタッフ	金野 真穂
スタッフ	小野 寺 徳子
スタッフ	孫 晶
スタッフ	日向 亜由美
スタッフ	森屋 静香
スタッフ	高橋 拓実
スタッフ	酒田 芽李

外国人相談員(英語)	山本 麻友美
外国人相談員(韓国語)	崔 在 繕
外国人相談員(中国語)	陳 茜
外国人相談員(ベトナム語)	クアンティ フーン
国際交流補助員(ペルー出身)	廣瀬 カロル
国際交流補助員(マレーシア出身)	チェン ジャーハウル
国際交流補助員(中国出身)	王 懿 敏
国際交流補助員(中国出身)	趙 林 芸

### ■ 設立30周年記念誌 編集委員会

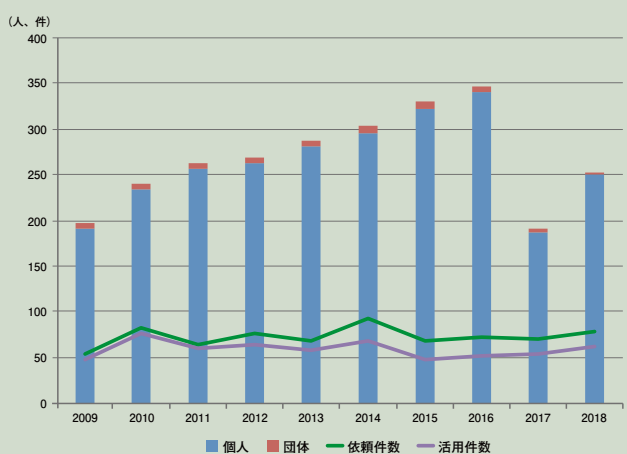
編集委員	高橋 宏昇 鈴木 いつみ
------	--------------

## ホストファミリー／日本語サポーター登録者数と活用件数



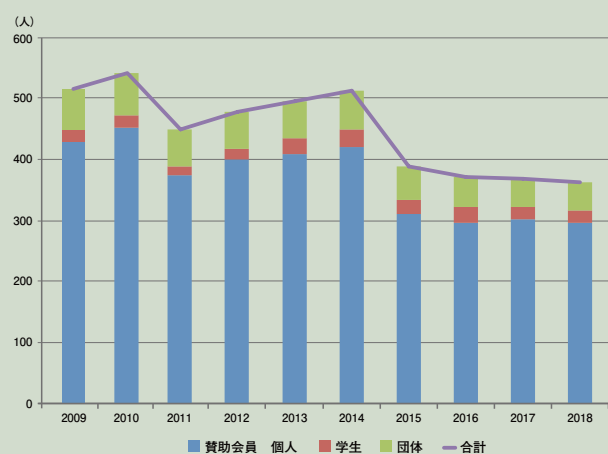
日本の家庭生活の体験を通じて、日本人との交流を望んでいる外国人の方の宿泊または訪問を受け入れるホストファミリーの登録制度を設けている。また、県内在住の外国人の増加や日本語教育の必要性が高まってきたことから、外国人に日本語を教えるボランティアの登録制度もある。両者共に、協会が登録者との仲介・支援を行い、国際交流の促進を図っている。

## 岩手県国際人材登録者数と依頼・活用件数



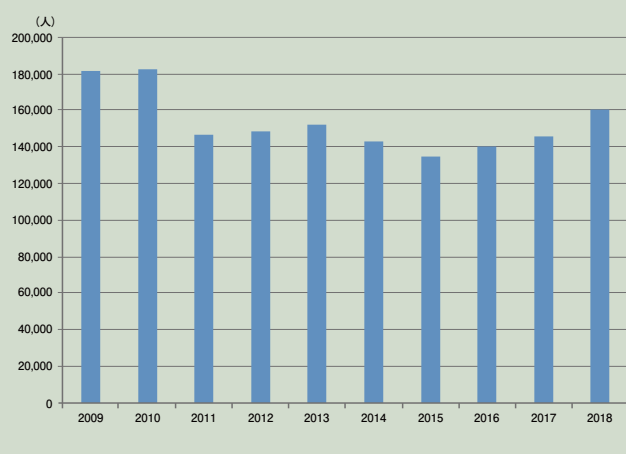
在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行っている。

## 賛助会員数



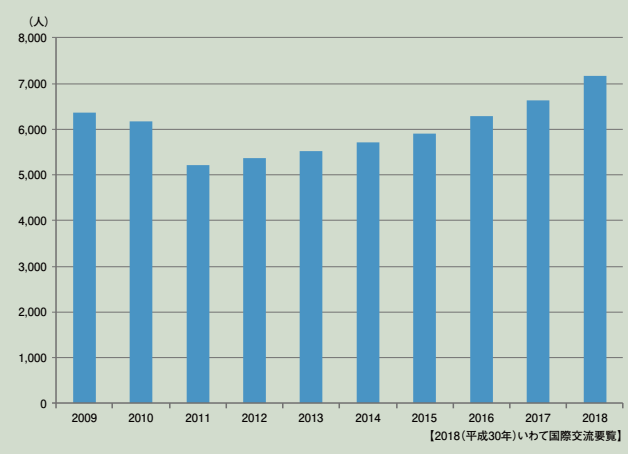
県民の幅広い参加を通して、積極的な国際交流活動を進めるため、当協会事業の趣旨・目的に賛同してくださる個人の方や団体を「賛助会員」として登録。会費は、県民と外国人との交流や未来を担う若い世代の育成など、幅広い事業に活用されている。

## 国際交流センター来館者数



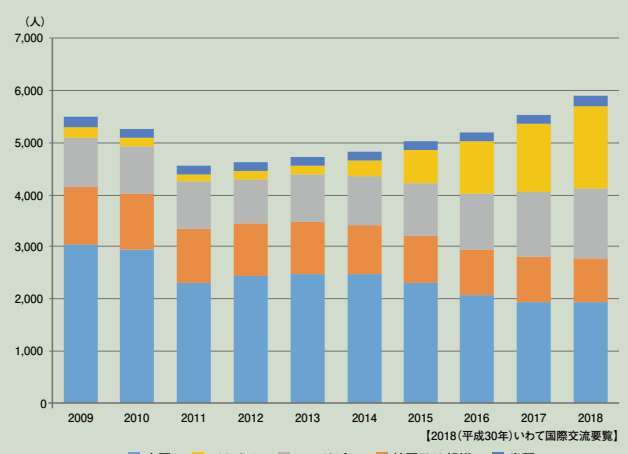
岩手県から委託を受けて、国際交流の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援の他、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応を行っている。

## 岩手県の外国人登録者数



県内の在留外国人数は、1989年以降増加傾向にあったが、2003年から横ばいとなっていた。2011年3月の東日本大震災津波の影響により、大幅に減少したが、その後、増加し続け2016年より震災前(2010年)の数を上回り、その後も上昇傾向にある。

## 国籍別外国人登録者数 (上位5カ国)



県内の国籍別外国人数が上位5位を占めるのが中国、フィリピン、ベトナム、韓国又は朝鮮、米国である。2013年までは中国に次いで韓国又は朝鮮が、2014年から2016年までは中国に次いでフィリピンが多かった。2017年からは技能実習生の受入れの影響でベトナムがフィリピンを上回り、中国に次いで多くなっている。



# 協会のオリジナルキャラクターができました!



岩手県国際交流協会では、設立30周年を記念して、オリジナルキャラクターを作りました。

## コンセプト1

人ではなく妖精です。

## コンセプト2

大地の「緑」、水・空の「青」、空気・雲の「白」の3色が基本カラー。

## コンセプト3

地球をイメージした帽子、平和をイメージした「双葉」に「地球はひとつ」というメッセージを込めました。

どうぞ  
よろしく  
お願い  
します!



## 岩手県内市町村における国際交流関係団体の設立状況 (2019年10月現在)

市町村	団体名	所在地等	電話番号
盛岡市	(公財)盛岡国際交流協会	盛岡市内丸12-2 盛岡市役所 市民協働推進課文化国際室内	019-626-7524
宮古市	宮古市国際交流協会	宮古市宮町1-1-80	0193-62-3534
花巻市	(公財)花巻国際交流協会	花巻市葛3-183-1 花巻市交流会館内	0198-26-5833
北上市	(一社)北上市国際交流協会	北上市大通1-3-1 北上市生涯学習センター内 北上市国際交流ルーム	0197-63-4497
久慈市	久慈市国際交流協議会	久慈市川崎町1-1 久慈市総務部総務課行政文書係内	0194-52-2112
遠野市	(一財)遠野市教育文化振興財団	遠野市新町1-10 遠野市民センター内	0198-62-6191
一関市	一関国際交流協会	一関市大町4-29 なのはなプラザ4階	0191-48-3788
	ゆうの会	一関市南町6-10	0191-21-1530
	東山国際交流協会	一関市東山町長坂字町301	0191-47-2015
	むろね国際交流クラブ	一関市室根町矢越字桜71-1	0191-64-3557
	川崎21世紀国際交流クラブ	一関市川崎町薄衣字諏訪前137	0191-43-2111
	藤沢町国際交流協会	一関市藤沢町徳田字曲田169	-
陸前高田市	陸前高田市国際交流協会	陸前高田市高田町鳴石42-5 陸前高田市地域振興部観光交流課内	0192-54-2111
釜石市	釜石市国際交流協会	釜石市鈴子町22-1シープラザ釜石2F(市ラグビーワールドカップ2019推進本部事務局国際交流センター内)	0193-31-1173
二戸市	二戸市国際交流協会	二戸市福岡字川又47	0195-23-3111
八幡平市	八幡平市国際交流協会	八幡平市野駄21-170 八幡平市役所地域振興課内	0195-74-2111
奥州市	奥州市国際交流協会	奥州市水沢字吉小路38-3 奥州市地域交流館アジア内	0197-22-6111
滝沢市	滝沢市国際交流協会	滝沢市中鶴館55 滝沢市教育委員会生涯学習スポーツ課内	019-643-6591
磐石町	磐石町国際交流協会	磐石町上曾根田114磐石町中央公民館内	019-692-4181
岩手町	特定非営利活動法人 岩手町国際交流協会	岩手町大字川口50-26-1	0195-65-2176
紫波町	紫波町国際交流協会	紫波町日詰字東裏85-4 紫波町商工会内	019-672-2244
矢巾町	矢巾町国際交流協会	矢巾町南矢幅13-123 矢巾町役場総務課内	019-611-2702
西和賀町	西和賀町国際交流協会	西和賀町沢内字前郷12-15	080-1669-5056
金ヶ崎町	金ヶ崎町国際交流協会	金ヶ崎町西根南羽沢55 金ヶ崎町中央生涯教育センター団体交流室内	0197-44-2099
平泉町	平泉国際交流協会	平泉町平泉字志羅山45-2 平泉町役場内	0191-46-4652
大槌町	大槌町国際交流協会	大槌町小槌26-148-30 内金崎会長様方	0193-42-5036
岩泉町	岩泉町国際交流協会	岩泉町岩泉字松橋21-1 岩泉町教育委員会	0194-22-2111
洋野町	洋野町国際交流協会	洋野町種市23-27-201	0194-65-3740
一戸町	一戸町国際交流協会	一戸町中里字上前田46-4 一戸町立鳥海地区公民館内	0195-33-1204
九戸村	九戸村国際交流協会	九戸村大字伊保内10-11-6 九戸村教育委員会生涯学習班内	0195-42-2111



公益財団法人 岩手県国際交流協会

30周年記念誌

2019(令和元)年10月発行

発行 / 公益財団法人 岩手県国際交流協会

岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階 国際交流センター  
TEL019-654-8900 FAX019-654-8922 URL:https://www.iwate-ia.or.jp/

印刷 / 株式会社 吉田印刷